

県民の皆様へのお願い

～身につけた感染対策を定着させよう～

- ◆ ご自身と大切な方を守るため、**コロナにうつらない、うつさない意識**を心がけましょう。
- ◆ 「**日頃から**」、「**会食や友人との交流の際**」、「**体調不良のとき**」の3つの場面における**感染対策の徹底**をお願いします。
- ◆ **発症予防・重症化予防のため、ワクチン接種**をお願いします。

1 日頃から

感染対策を心がけましょう

- 「密集・密接・密閉」を回避し、混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を控えましょう。
- 換気、マスクの正しい着用、手指消毒、毎日の健康観察を習慣化しましょう。
- 県外・離島に出発する前には、3回目のワクチン接種の完了又はPCR等検査を受検しましょう。
- 県外から帰った後は、速やかにPCR等検査を受検してください。

2 会食や友人との交流の際は

できるだけ大人数、長時間の集まりを控え、屋内ではマスクを着用しましょう

- 発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも体調に異常があれば参加しない、参加させないこと。
- 子どもが集まる場面(学童、学習塾や友人宅等)では、換気などの感染対策を大人がチェックすること。
- 屋内で集まるときはマスクを着用し、大人数でマスクを外すイベントでは、検査で陰性を確認すること。
- できるだけ同居家族やいつも一緒にいる方と会食を行い、大人数での会食を実施する場合は、できるだけ検査陰性者で行うこと。
- 会食にあたっては「感染防止対策認証店」を利用し、感染防止対策が徹底されていない飲食店等の利用は控えること。

※ 感染防止対策認証店以外の店を利用する場合、4人以下・2時間以内で行うこと。

3 体調不良のときは

発熱、のどの痛み、咳、鼻水など、少しでも症状がある場合、通勤、通学、外出、会食を控えてください

- 風邪症状を認めるときには、1週間程度は重症化リスクの高い高齢者、妊婦等には会わないように注意してください。
- 体調不良でコロナが疑われる場合、医療用の抗原検査キットを活用するか、医療機関に事前に連絡したうえで受診してください。

4 ワクチン接種は

3回目接種をお願いします（高齢者、基礎疾患を有する方は4回目接種）

- ワクチン接種を最新の状態にすれば、入院や死亡のリスクが低下します。
- 社会福祉施設の入居者やデイサービスの利用者は、集団感染のリスクが高いため、できるだけ接種を進めてください。
- 高血圧等の基礎疾患を有する方、肥満、喫煙する方など重症化リスクのある方も、ワクチン接種による重症化予防が期待できます。2

来訪者(沖縄への来訪を検討している)の皆様へ

- 来県前には、十分な健康観察と感染防止対策を徹底した上でお越してください。体調不良の際には来県を延期いただき、改めての来県をお待ちしております。
- 修学旅行で来県される方々は、感染防止対策を徹底した上で、別途「沖縄修学旅行防疫観光ガイドライン」等に基づいた行動をお願いします。
- その他、旅行等で、来県する前には、3回目のワクチン接種を完了するかPCR等検査で陰性を事前に確認ください。
- 沖縄滞在中に体調不調や発熱があった場合は、旅行者専用相談センター沖縄にご相談ください。
【旅行者専用相談センター沖縄(「TACO」:Traveler's Access Center Okinawa)】
電話番号:098-840-1677 運営時間:8:00~21:00(年中無休)

飲食店等の皆様へ

対象施設	<p>[飲食店]飲食店(宅配・テイクアウトを除く) [遊興施設・結婚式場等]バー、カラオケボックス、結婚式場等で食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗</p>
要請内容	<p>○沖縄県感染防止対策認証店については、引き続き、業種別ガイドラインの遵守など、感染防止対策を徹底し、「安全・安心な店」づくりをお願いします。</p> <p>①店舗内の衛生管理:店内の十分な換気を行うことや、お客様が触れる場所・器具の消毒 ②従業員等の安全衛生管理:従業員の就業前の日々の検温等体調管理の徹底、ワクチン接種推奨 ③お客様の安全:入店時の検温、手指消毒の徹底、余裕をもった配席など (軽度であっても発熱その他の症状のある方の入店のお断りや、お客様への感染防止対策の協力の周知) 等</p> <p>○沖縄県感染防止対策認証店以外の店舗については、同一グループ・同一テーブル原則4人以下・2時間以内とする呼びかけをお願いします。</p> <p>○感染防止対策を徹底し、早期に「沖縄県感染防止対策認証制度(第三者認証)」を取得することを推奨します。</p>

イベントの開催について

◆ イベント主催者等に対して、規模要件等(人数上限・収容率等)に沿った開催を要請

	施設の収容定員(※1)		
	5,000人以下	5,000人超～10,000人以下	10,000人超
大声なし	収容定員まで可	5,000人まで可(※3)	収容定員の半分まで可(※3)
大声あり(※2)	収容定員の半分まで可		

※1: 収容定員が設定されていない場合は以下のとおりとする。

- ・大声なし → 密が発生しない程度の間隔(最低限人と人が接触しない程度の間隔)を空けることとする。
- ・大声あり → 十分な人と人との間隔(できるだけ2m、最低1m)を空けることとする。

※2: 「大声」は、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」と定義し、これを積極的に推奨するまたは必要な対策を十分に施さない催物を「大声あり」に該当するものとする。

※3: 感染防止安全計画の作成・実施を条件に人数上限は収容定員まで可能となる。

- 主催者は、業種別ガイドラインの遵守を徹底するとともに、国の接触確認アプリ(COCOA)・沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート(RICCA)の導入又は名簿作成などの追跡対策を徹底すること。
- 参加者5,000人超かつ収容率50%超のイベントについては、主催者がイベント開催の2週間前までを目途に具体的な対策内容を記載した「感染防止安全計画」を作成し、県へ提出すること。県が求める要請を満たさない場合は、延期・中止を求めることがある。
- 全国的な感染拡大やイベントでのクラスターが発生し、国が業種別ガイドラインの見直しや収容率要件、人数上限の見直し等を行った場合には、迅速に対応すること。
- 多くの人が集まるイベントについては、来場者に対し、ワクチン接種又は事前のPCR等検査での陰性確認を勧奨すること。
- 飲食を提供する場合は、飲食専用エリア以外においては自粛を求めること。ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントについては、チェックリストの作成等を通して感染対策を徹底すること(詳細は「イベントの開催制限について(<https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/kohokoryu/koho/20200828.html>)」を確認)

◆ イベントに参加する方々は、参加前後の基本的な感染対策の徹底と直行直帰等感染リスクの低減を図る取組をお願いします。

商業施設、集客施設の皆様へ

特措法施行令第11条第1項に規定する運動施設、遊技場、映画館、ショッピングセンター等の施設に以下の感染対策を実施すること。

- 業種別ガイドラインの遵守等、感染防止対策の徹底
- 入場者が密集しないよう整理・誘導（特に集客イベントを実施する場合は、密集・密接しないように取り組むこと）
- 入場者へマスクの着用徹底等の呼びかけ
- 会話等の飛沫による感染の防止に効果のある措置（特にフードコートについて、アクリル板等の設置又は座席の間隔の確保、換気の徹底などの措置）

事業者の皆様へ

- 従業員の体調管理を徹底し、体調の悪い方は、出勤しない・させないこと。
- 在宅勤務（テレワーク）、テレビ会議、時差通勤の拡大など、通勤・在勤時の密を防ぐ取組をすること。
- 業種別に定める新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインを遵守すること。
- 職場でワクチン接種を勧奨すること（接種しやすい環境の整備をお願いします。）。

学校へのお願い

- 衛生管理マニュアル等を踏まえた対応を基本とする。
- 特に感染リスクが高い教育活動（※）については、同マニュアル上のレベルにとらわれず、基本的には実施を控える。感染が拡大していない地域でも、慎重に実施を検討するといった対応を行う。
- 健康観察表や健康観察アプリなども活用しながら、教職員及び児童生徒等の健康観察を徹底し、体調不良時は出勤、登校を控えるよう周知すること。
- 気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を優先し、マスクを外すことを指導する。
- 部活動は、感染リスクが高い活動（※）を控えるなど感染防止対策を徹底し、平日2時間程度（早朝練習も含む）、土日休日3時間程度の活動とし、活動開始時・各種大会前には健康チェックを行うこと。
- 小中学生・高校生の有症状者及びその濃厚接触者となりうる同居家族が、自宅で抗原定性検査が実施できる「RADECO」の活用を促進すること（切り替わるまでの間、学校PCRと併用）。

※ 例：音楽における室内近距離で行う合唱やリコーダー等の管楽器の演奏、体育における密集する運動 等
（オミクロン株の特徴を踏まえた感染防止策について【第12回新型コロナウイルス感染症対策分科会】より）



沖縄県ではこれまでの2年間、
7月の連休後に感染が拡大しています！！



夏の流行拡大を最小限に抑えるため、以下の対策にご協力をお願いします。

1. ワクチンを接種しましょう

- コロナ罹患者のうち、70歳以上では5人に1人が入院、20歳未満でも400人に1人が入院しています。(※)
- ワクチン接種による発症予防・重症化予防効果が報告されています。
- 夏を迎える前に、ワクチン接種を最新の状態にしましょう。

県広域ワクチン接種
予約はコチラ↓



※沖縄県疫学・統計
解析委員会資料より

2. 感染対策を心がけましょう

- 3密を避け、健康観察アプリの活用等、体調管理を徹底しましょう。
- こまめな換気、会話する場面や室内などの正しいマスク着用、手指消毒の徹底をお願いします。
- 親のいないところでも、子どもが感染対策を怠らないよう、周囲の大人が気を配ってください。

健康観察アプリは
コチラ↓



3. 体調不良時は外出しないで下さい

- 特に基礎疾患のある方は、日々の健康観察を徹底し、体調不良時は主治医へ相談してください。
- 日中はクリニック等かかりつけ医を受診、発熱時は県コールセンター(098-866-2129)を利用ください。

コロナかな？と
思ったらコチラ↓



4. 会食による感染リスクを 認識しましょう

- 会食する際は、「感染防止対策認証店」を利用しましょう。
- ビーチパーティー等、不特定多数での会食後、1週間程度は高齢者等の重症化リスクの高い方と会うのは、控えてください。

認証店の検索は
コチラ↓





屋外・屋内でのマスク着用について

- マスク着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。
一人ひとりの行動が、大切な人と私たちの日常を守ることに繋がります。
- 屋外では、人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**
- 屋内では、人との距離（2m以上を目安）が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、**マスクを着用する必要はありません。**



【屋外】

距離が確保できる

距離が確保できない

会話を
する

マスク
必要なし



マスク着用
推奨



会話を
ほとんど
行わない

マスク
必要なし



マスク
必要なし



公園での散歩やランニング、サイクリングなど

徒歩や自転車での通勤など、屋外で人とすれ違う場面

【屋内】

距離が確保できる

距離が確保できない

会話を
する

マスク着用
推奨



マスク着用
推奨



会話を
ほとんど
行わない

マスク
必要なし



マスク着用
推奨



通勤ラッシュ時や人混みの中
ではマスクを着用しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。
体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。



夏場は、熱中症防止の観点から、屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

マスクに
関するQ&A

